平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 アイフル株式会社　　上場取引所　東
コード番号 8515　URL http://aiful.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 福田 吉孝
問合せ先責任者　(役職名) 財務部長　(氏名) 山内 郁雄　TEL 075-201-2010

四半期報告書提出予定日　平成26年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	69,415	△8.5	18,896	△18.4	21,460	△12.5	27,099	△7.8
25年3月期第3四半期	75,863	△12.6	23,159	46.6	24,523	60.7	29,400	73.7

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　27,358百万円　(△8.2%)　25年3月期第3四半期　29,807百万円　(61.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	56.34	56.05
25年3月期第3四半期	61.13	61.03

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	583,237	130,312	22.3
25年3月期	607,181	105,008	16.9

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　129,999百万円　25年3月期　102,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

現状の当社を取り巻く事業環境は、未だ利息返還請求の動向が不透明であることから、当社業績に与える影響について現時点では合理的な算定が難しいため、業績予想を未定とさせていただきます。業績への影響を精査し、業績の予想が可能な状況となりましたら、速やかに開示させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
②①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 無
④ 修正再表示	： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	481,867,836 株	25年3月期	481,867,836 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	916,450 株	25年3月期	915,932 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	480,951,710 株	25年3月期3Q	480,952,022 株

（注）当社は、平成25年10月１日付で普通株式１株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の発表時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
・当社は、平成25年７月８日開催の取締役会決議により、平成25年10月１日付で普通株式１株につき2株の割合をもって分割する株式分割を実施するとともに、単元株式数を50株から100株に変更しております。

○　添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
（３）連結業績予想に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４

４．四半期連結財務諸表等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
（１）四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ９
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10
（継続企業の前提に関する注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10
（重要な後発事象）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10

５．補足情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11
（１）営業実績（連結）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11
【営業収益】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11
【その他の指標】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策などから円安・株高が進行し、景況感に改善が見られるなど、緩やかに回復しつつあります。

消費者金融業界におきましても、景況感の改善や大手各社の積極的な広告展開による新規成約件数の増加、及び債権ポートフォリオの良質化に伴い、営業貸付金残高の減少に底打ち感が見えるなど、ようやく改善の兆しが見えはじめております。一方で、業界の最大のリスクである利息返還請求については、減少傾向ではあるものの、足もとではほぼ横ばいで推移しており、未だ不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業再生ＡＤＲ手続に基づく事業再生計画を着実に履行するため、再生計画に沿った弁済やコスト削減を進めるとともに、事業規模に見合った効率的な広告展開により、更なる新規成約件数の増加や、債権ポートフォリオの良質化に努めてまいりました。

今後におきましても、最大の経営課題である利息返還請求に対応しつつ、グループ全体での更なる事業効率の向上に努め、より一層の財務体質並びに収益性の改善に取り組み、事業再生の実現に向け全力を尽くしてまいります。

（業績の概況）

当第３四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は 69,415 百万円（前年同期比 8.5%減）となりました。その主な内訳といたしましては、営業貸付金利息が 38,488 百万円（前年同期比 18.4%減）、包括信用購入あっせん収益が 10,023 百万円（前年同期比 8.4%増）、信用保証収益が 6,062 百万円（前年同期比 76.6%増）、買取債権回収高が 1,969 百万円（前年同期比 35.5%減）、償却債権回収額が 7,503 百万円（前年同期比 10.6%減）となっております。

営業費用につきましては、50,518 百万円（前年同期比 4.1%減）となりました。その主な要因といたしましては、金融費用が 4,477 百万円（前年同期比 14.7%減）及び売上原価が 1,381 百万円（前年同期比 44.3%減）となったことなどによります。

このほか、ビジネクスト株式会社に係る合弁事業の発展的解消に伴う、負ののれん発生益 2,305 百万円、債権買取益 3,840 百万円など、6,398 百万円（前年同期比 6.2%増）の特別利益を計上しております。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループの営業利益は 18,896 百万円（前年同期比 18.4%減）、経常利益は 21,460 百万円（前年同期比 12.5%減）、四半期純利益は 27,099 百万円（前年同期比 7.8%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債、純資産、及びキャッシュ・フローの状況に関する分析）

当第３四半期連結会計期間末における資産は、前期末に比べ 23,943 百万円減少の 583,237 百万円（前期末比 3.9%減）となりました。減少の主な要因は、総量規制の影響などから、営業貸付金が 61,646 百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ 49,248 百万円減少の 452,924 百万円（前期末比 9.8%減）となりました。減少の主な要因は、借入金の返済及び社債の償還により 54,039 百万円減少したほか、期中利息返還への充当により利息返還損失引当金が 23,167 百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ25,304百万円増加の130,312百万円（前期末比24.1%増）となりました。増加の主な要因は、四半期純利益を計上したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前期末に比べ6,840百万円増加の68,039百万円（前期末比11.2%増）となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は55,503百万円（前年同期比89.3%増）となりました。これは主に、営業貸付金などの営業債権の減少による資金の増加が､利息返還損失引当金の減少による資金の減少を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1,806百万円（前年同期比144.6%増）となりました。これは主に有形固定資産の売却及び長期貸付金の回収による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は50,513百万円（前年同期比15.8%増）となりました。これは主に、借入金の返済や社債の償還による支出によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、コスト構造改革により、財務体質並びに収益性の改善を行い、事業再生計画に沿った弁済を着実に行ってまいります。また、事業再構築の基本方針に基づき、債権ポートフォリオの良質化に努めるとともに、グループ全体で更なる事業効率の向上を図ってまいります。

現状の当社を取り巻く事業環境は、未だ利息返還請求の動向が不透明であることから、当社業績に与える影響について現時点では合理的な算定が難しいため、平成26年３月期の連結業績予想を引き続き未定とさせていただきます。業績への影響を精査し、業績の予想が可能な状況となりましたら、速やかに開示させていただきます。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、金融機関からの借入れ、社債発行、営業貸付金債権の流動化などの多様な手法により、短期・長期の資金調達を行ってまいりましたが、平成18年の最高裁判決を契機として増大した利息返還請求による資金負担増や近年の急激な資金調達市場の悪化などを要因として、当社グループがその事業を継続するだけの新たな資金調達が困難な状況に至るおそれがあり、平成22年３月期連結会計年度より、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、当社グループは、今後の事業再生と事業継続に向け強固な収益体質の確立及び財務体質の抜本的な改善を図るため、平成21年９月24日、事業再生ＡＤＲ手続の申込を行い、同年12月24日に開催された債権者会議において金融支援を含む事業再生計画が承認され、事業再生ＡＤＲ手続が成立いたしました。

当第３四半期連結累計期間においては、事業再生計画に基づき平成25年６月10日の通常弁済を含む19,862百万円を対象債権者に弁済し、今後につきましては、平成26年６月10日に16,500百万円の弁済を行い、弁済実施後残高161,740百万円は、平成26年７月10日までにリファイナンスを受けるか、又は同日以後の弁済方法につき対象債権者の皆様に提案の上、合意を取得する予定としております。

当社グループは、事業再生計画に規定された具体的な対応策を実施し、並びに債権者の皆様と誠実かつ丁寧な協議を続けさせていただくことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

４．四半期連結財務諸表等
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,202	68,042
営業貸付金	390,635	328,988
割賦売掛金	83,885	83,528
営業投資有価証券	925	870
支払承諾見返	74,440	102,385
その他営業債権	7,070	6,992
買取債権	3,143	2,523
その他	17,309	13,588
投資損失引当金	△19	△18
貸倒引当金	△84,714	△74,177
流動資産合計	553,878	532,725
固定資産		
有形固定資産	18,801	17,368
無形固定資産	4,763	3,194
投資その他の資産	29,737	29,949
固定資産合計	53,302	50,512
資産合計	607,181	583,237
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,356	9,915
支払承諾	74,440	102,385
短期借入金	40,900	49,570
1年内償還予定の社債	8,700	―
1年内返済予定の長期借入金	43,712	16,800
未払法人税等	987	381
引当金	3,732	3,537
その他	7,102	10,432
流動負債合計	191,931	193,022
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	190,038	162,940
利息返還損失引当金	91,421	68,253
負ののれん	217	54
その他	3,563	3,653
固定負債合計	310,241	259,902
負債合計	502,172	452,924

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,324	143,324
資本剰余金	164,392	164,392
利益剰余金	△202,114	△175,015
自己株式	△3,110	△3,110
株主資本合計	102,491	129,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149	409
その他の包括利益累計額合計	149	409
新株予約権	61	313
少数株主持分	2,305	―
純資産合計	105,008	130,312
負債純資産合計	607,181	583,237

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
営業収益		
営業貸付金利息	47,184	38,488
包括信用購入あっせん収益	9,242	10,023
個別信用購入あっせん収益	177	138
信用保証収益	3,433	6,062
その他の金融収益	9	6
その他の営業収益	15,815	14,697
営業収益合計	75,863	69,415
営業費用		
金融費用	5,247	4,477
売上原価	2,481	1,381
その他の営業費用	44,975	44,660
営業費用合計	52,704	50,518
営業利益	23,159	18,896
営業外収益		
為替差益	833	2,161
負ののれん償却額	163	163
その他	407	257
営業外収益合計	1,403	2,582
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	13	－
その他	26	18
営業外費用合計	39	18
経常利益	24,523	21,460
特別利益		
負ののれん発生益	－	2,305
債権買取益	5,948	3,840
その他	76	253
特別利益合計	6,024	6,398
特別損失		
投資有価証券売却損	－	32
事業構造改善費用	－	9
その他	28	0
特別損失合計	28	42
税金等調整前四半期純利益	30,519	27,816
法人税、住民税及び事業税	656	635
法人税等調整額	14	82
法人税等合計	671	717
少数株主損益調整前四半期純利益	29,847	27,099
少数株主利益	446	－
四半期純利益	29,400	27,099

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	29,847	27,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	259
その他の包括利益合計	△39	259
四半期包括利益	29,807	27,358
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,360	27,358
少数株主に係る四半期包括利益	446	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,519	27,816
減価償却費	4,611	2,791
債権買取益	△5,948	△3,840
負ののれん償却額	△163	△2,468
投資損失引当金の増減額（△は減少）	△54	△4
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△26,310	△12,032
賞与引当金の増減額（△は減少）	△520	△455
ポイント引当金の増減額（△は減少）	190	260
利息返還損失引当金の増減額（△は減少）	△25,692	△23,167
事業構造改善引当金の増減額（△は減少）	△2,125	－
受取利息及び受取配当金	△27	△16
投資有価証券売却損益（△は益）	△32	△131
営業貸付金の増減額（△は増加）	57,141	61,646
割賦売掛金の増減額（△は増加）	△4,098	356
その他営業債権の増減額（△は増加）	1,145	78
買取債権の増減額（△は増加）	1,130	619
破産更生債権等の増減額（△は増加）	4,411	2,280
営業保証金等の増減額（△は増加）	△903	△2,139
その他の流動資産の増減額（△は増加）	2,930	4,010
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△6,736	1,054
その他	88	231
小計	29,555	56,889
利息及び配当金の受取額	27	16
法人税等の還付額	24	71
法人税等の支払額	△284	△1,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,323	55,503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△308	△517
有形固定資産の売却による収入	220	1,269
無形固定資産の取得による支出	△333	△342
投資有価証券の売却による収入	532	517
その他	627	880
投資活動によるキャッシュ・フロー	738	1,806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	81,260	402,620
短期借入金の返済による支出	△72,900	△393,950
長期借入れによる収入	10,351	1,500
長期借入金の返済による支出	△44,797	△51,669
社債の償還による支出	△17,472	△8,700
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	－	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△48	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,606	△50,513
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	44
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△13,514	6,840
現金及び現金同等物の期首残高	86,695	61,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,181	68,039

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

５．補足情報

（１）営業実績（連結）

【営業収益】

（単位：百万円、％）

セグメントの名称	項目		前年同四半期 平成25年３月期 第３四半期		当四半期 平成26年３月期 第３四半期		（参考）前期 （平成25年３月期）	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
アイフル株式会社	営業貸付金利息		36,391	48.0	31,944	46.0	47,402	47.6
		無担保ローン	29,297	38.6	26,108	37.6	38,125	38.3
		有担保ローン	5,860	7.7	4,788	6.9	7,654	7.7
		事業者ローン	1,233	1.7	1,048	1.5	1,621	1.6
	包括信用購入あっせん収益		91	0.1	34	0.1	115	0.1
	個別信用購入あっせん収益		140	0.2	131	0.2	189	0.2
	信用保証収益		2,379	3.1	5,082	7.3	3,214	3.2
	その他の金融収益		6	0.0	4	0.0	11	0.0
	その他の営業収益		8,772	11.6	7,916	11.4	11,364	11.4
		償却債権回収額	8,347	11.0	7,409	10.7	10,788	10.8
		その他	424	0.6	506	0.7	575	0.6
	小計		47,782	63.0	45,113	65.0	62,298	62.5
ライフカード株式会社	営業貸付金利息		5,287	7.0	4,761	6.9	6,904	6.9
		無担保ローン	5,286	7.0	4,752	6.9	6,901	6.9
		有担保ローン	0	0	5	0.0	0	0.0
		事業者ローン	0	0	3	0.0	1	0.0
	包括信用購入あっせん収益		9,151	12.0	9,988	14.4	12,398	12.5
	個別信用購入あっせん収益		36	0.0	6	0.0	42	0.1
	信用保証収益		1,053	1.4	979	1.4	1,394	1.4
	その他の金融収益		3	0.0	0	0.0	4	0.0
	その他の営業収益		3,844	5.1	4,470	6.4	5,195	5.2
		償却債権回収額	17	0.0	73	0.1	22	0.0
		その他	3,826	5.1	4,396	6.3	5,173	5.2
	小計		19,376	25.5	20,208	29.1	25,939	26.1
その他	営業貸付金利息		5,505	7.3	1,781	2.6	7,301	7.3
		有担保ローン	769	1.0	726	1.1	1,034	1.0
		事業者ローン	4,736	6.3	1,055	1.5	6,266	6.3
	その他の金融収益		0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他の営業収益		3,198	4.2	2,311	3.3	4,080	4.1
		営業投資有価証券売上高	58	0.1	210	0.3	59	0.1
		買取債権回収高	3,053	4.0	1,969	2.8	3,908	3.9
		償却債権回収額	23	0.0	20	0.0	29	0.0
		その他	63	0.1	110	0.2	82	0.1
	小計		8,704	11.5	4,093	5.9	11,381	11.4
合計			75,863	100.0	69,415	100.0	99,619	100.0

（注）１．ライフカード株式会社における「その他の営業収益」の「その他」は、カード会員収入等であります。
２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

【その他の指標】

項目		前年同四半期 平成25年３月期 第３四半期	当四半期 平成26年３月期 第３四半期	（参考）前期 （平成25年３月期）
営業貸付金残高	（百万円）	397,870	356,584	390,635
	無担保ローン	277,801	260,145	272,980
	有担保ローン	64,942	49,715	64,344
	事業者ローン	55,126	46,723	53,310
口座数	（口座）	926,494	825,266	887,662
	無担保ローン	865,648	774,244	829,561
	有担保ローン	23,831	19,356	22,526
	事業者ローン	37,015	31,666	35,575
店舗数	（店）	642	693	651
	営業店舗（有人）	27	26	27
	営業店舗（無人）	615	667	624
自動契約受付機	（台）	655	716	664
ＡＴＭ台数	（台）	157,147	162,376	158,404
	自社分	589	484	570
	提携分	156,558	161,892	157,834
社員数	（人）	1,461	1,378	1,437

（注）営業貸付金残高及び口座数は、破産更生債権等を含んでおりません。なお、債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金（前年四半期末―百万円、当四半期末27,596百万円、前連結会計年度末―百万円）を含んでおります。